

選ばれるまちづくりプロジェクト ～苫小牧市スポーツ都市宣言 60周年関連事業

今年度、まちプロ第2弾「スポとまP」において60周年関連事業を展開し、第3期スポーツ基本計画にある「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」の新たな視点を加え事業を展開する必要がある。

一方、これまで構築している事業の成熟度を高めるとともに、市民のスポーツ実施率の向上、事業の参加者増加により、令和8年度からスタートした第2期スポーツ推進計画で掲げている成果指標の数値向上につなげることを本事業の成果としたい。

選ばれるまちづくりプロジェクト 「スポーツシティとまこまいプロジェクト」(スポとまP) ～苫小牧市スポーツ都市宣言 60周年関連事業～

既存事業 (成熟度、認知度、恒常的な関わり)

- 各既存事業で冠を付して事業を実施する
- 各競技団体の大会の冠事業の実施依頼
- スポーツ実施における簡易アンケートの実施

記念事業 (スポーツに関わるきっかけづくりなど)

- オープニングイベント (市長旗少年野球)
→開会式後にHARTYをゲストにライブイベント
- 名古屋グランパスキャンプでのコラボイベント
→サッカー教室、都市再生講演会を実施
- スポーツフェスティバルでのゲスト招聘
→まちプロ関連及びスポフェス予算で対応
- 第99回氷上インカレ (記念事業として位置付け)
- フィナーレイベント
→パラスポーツ体験会でのパラアスリート・著名人を招聘
- スポーツ実施における簡易アンケートの実施
- ノベルティグッズによる周知・啓発

「次世代に豊かなスポーツ文化を継承する」⇒スポーツによるまちづくりの継承
(健康増進・青少年育成・コミュニティー創出・地域活性化・地域の魅力発信 等)

北海道日本ハムファイターズファーム施設誘致について

令和7年7月、市長記者会見において「北海道日本ハムファイターズのファーム施設の誘致にチャレンジする」と公表して以降、苫小牧・胆振・日高地域一体となって誘致活動を展開しました。

今回、ファーム施設の候補地には選定されませんでしたが、誘致活動に温かいご支援と力強い応援をいただきました市民の皆さま、企業・団体の皆さま、誘致期成会の皆さま、胆振・日高地域の自治体の皆さまに、心より感謝申し上げます。

誘致活動の歩み

2025
9/25

F×T発足

東胆振1市4町などの37団体で組織された「北海道日本ハムファイターズ2軍誘致期成会(F×T)」が発足しました。



9/28

たるまえサンフェスティバルで署名活動

たるまえサンフェスティバル会場でも多くの方々にご協力いただきました。



9/30

署名コーナーを常設

市役所1階ロビーと経済センタービルに署名コーナーを設置しました。



10/4

イオンモール苫小牧で署名活動

イオンモール苫小牧にて、買い物に訪れた多くの方にご協力いただきました。



11/29

のぼりの設置

JR苫小牧駅コンコースにのぼりを設置し、誘致活動をPRしました。



12月～

議会でのユニフォーム着用

苫小牧市議会で、議員や職員、そして市長も、ファイターズのユニフォームを着用して熱意をアピールしました。



12/4

金澤市長へ中間報告

署名数58,069筆を金澤市長へご報告しました。



12/12-13

公式アンバサダー就任・シンボルストリートテラスセレモニー出演

金澤有希さんが公式アンバサダーに就任。セレモニーを盛り上げていただきました。



12/21

学生団体(F×T×Sプロジェクト)設立と取組開始

若い力で誘致活動を盛り上げるため、学生団体が始動しました。



2026
3/27

応援パーク開催、e-BASEBALL CUP実施、パブリックビューイングなど

さまざまな企画で、市内をファイターズ一色に盛り上げました。



4/17

署名数10万筆を達成

目標としていた10万筆を達成! 多くの想いが形になりました。



4/18-5/31

ぷらっと港市場で限定コラボメニュー販売

地域グルメとコラボした限定メニューで、誘致活動を応援していただきました。



5/1

記念モニュメントお披露目・展示開始

最終報告として101,250筆の署名を記録、記念モニュメントを設置しました。



5/24

FINE HOKKAIDO 合同発表会

高校生が描くファイターズ2軍施設誘致と苫小牧の未来を市長の前で発表しました。



名古屋グランパス 2026 夏季キャンプ受入総括

1 夏季キャンプ概要

キャンプ日数	7月4日から7月26日までの 23日間 ※26日は名古屋への移動のみ
練習公開日数	19日
受入人数	選手 31 名／監督・スタッフ 32 名／ 計 63 名

2 夏季キャンプ延べ見学者数

延べ見学者数は 3,970 人。 特に見学者数が多かった日は以下のとおり。

日付	内容	見学者数
7/4 (土)	歓迎セレモニー	700 人 (うち関係者 200 人)
7/8 (水)	トレーニングマッチ (対 岩見沢教育大)	330 人
7/14 (火)	トレーニングマッチ (対 FC 今治)	580 人
7/18 (土)	トレーニングマッチ (対 札幌大学)	250 人

3 夏季キャンプ中のイベント

日付	内容	対象者	参加人数
7/11 (土)	サッカー教室	(1) アイシン北海道株式会社 (2) 札幌トヨタ自動車株式会社 (3) 株式会社三五北海道	60 人
7/12 (日)	サッカー教室	(1) トヨタ自動車北海道株式会社 (2) サッカー協会募集枠	80 人
7/13 (月)	講演会	市民、サッカー関係者、企業経営者など	200 人
7/17 (金)	選手・監督交流イベント	スポンサー企業、キャンプ協力企業など	130 人

4 夏季キャンプ中の主な取り組み

実施日	取組内容	取組詳細
土日・祝日 及び トレーニングマッチ	出張案内所の設置	苫小牧観光協会に委託し、とまチョップグッズやコラボグッズの販売などを行った。
	ふるさと納税 PR ブースの設置	シティプロモーション課が中心となり、ふるさと納税の PR・試食などを行った。
	キッチンカーの出店	
	グランパスオフィシャルグッズ販売ブースの設置	グランパスから委託を受けたセレクトスポーツが、グッズの販売を行った。
キャンプ期間中	スポーツ都市推進課インスタグラムによる情報発信	トレーニング情報・グルメ情報などを発信した。

名古屋グランパス 2026 夏季キャンプ受入総括

5 その他

取材に来た主な報道機関：10 社

区分	報道機関名(番組名)
新聞	苫小牧民報
新聞	北海道新聞
テレビ	苫小牧ケーブル TV
テレビ	HBC（今日ドキッ！）
テレビ	HTB（イチオシ・イチモニ）
テレビ	UHB
テレビ	テレビ東京（サタデーナイト J）※長谷川アーリアジャスールが取材
テレビ	フジテレビ（すぽると） ※小野伸二が取材
テレビ	名古屋テレビ
その他	トヨタタイムズ

